

令和 8 年度 埼玉大学課外学習プログラム一覧

ページ	開講部局	プログラム名
1	教養学部	Perspectives of World Literature and Comparative Cultural Studies
2	教養学部	Contemporary Art and Media in Australia and Asia - Interaction and Inclusivity - Perspectives on Neurodiversity
3	経済学部	少子高齢化と社会保障制度の持続可能性
4	教育学部	声で遊ぼう！—わらべうた遊びや詩の朗読を通した声の表現活動
5	理学部	身のまわりの物質と化学の歴史
6	工学部	遠隔操作ロボット
7	教育機構	無気力・不安への対処（森田療法）
8	ダイバーシティ推進センター	人種差別に抵抗する医療者たち

令和8年度埼玉大学課外学習開講プログラム概要

プログラム名	Perspectives of World Literature and Comparative Cultural Studies
開講学部等	教養学部
担当教員	野中 進
実施日時	令和8年12月1、8、15、22日、 令和9年1月12、19日（予定） いずれも16:30～18:00
実施方法	オンライン
実施場所	
受入可能人数 （最小実施人数）	10 人 （1 人）
プログラム 概要	ウクライナ、台湾、日本のいくつかの大学とオンラインで「世界文学と比較文化」に関する報告と討論（英語）を行う。なお、報告は必須ではない。 詳しい日程・内容は後日、受講申請者に送る。
受入要件	なるべく多くの回に参加できること
受講対象	埼玉医科大学の学生・教員

令和8年度埼玉大学課外学習開講プログラム概要

プログラム名	Contemporary Art and Media in Australia and Asia - Interaction and Inclusivity - Perspectives on Neurodiversity
開講学部等	教養学部
担当教員	ザラパップ・ジリア
実施日時	令和8年10月13日～11月10日(火) 16:10～17:50 (11月3日 文化の日除く) (上記のうち4回程度で実施)
実施方法	Zoom
実施場所	
受入可能人数 (最小実施人数)	20 人 (1 人)
プログラム 概要	This course explores contemporary art and media practices across Australia and Asia, focusing on interaction, inclusivity, and neurodiversity. It examines how artists and curators develop participatory, multisensory experiences that embrace neurological differences and foster cross-cultural dialogue. Students engage with museum and exhibition practices through case studies of accessible programming and inclusive curation. Hands-on workshops allow experimentation with neuro-affirming art-making, interactive media, and sensory installations. The course is particularly valuable for medical students, offering insights into neurodivergent lived experiences, sensory processing, and person-centered approaches that enhance empathy, communication, and inclusive healthcare practices.
受入要件	英語で行いますが、特になし。
受講対象	学部生・大学院生・教員

令和 8 年度埼玉大学課外学習開講プログラム概要

プログラム名	少子高齢化と社会保障制度の持続可能性
開講学部等	経済学部
担当教員	中川 忍
実施日時	令和 8 年 12 月 8 日（火）16 : 00 ~ 17 : 00（最大 17 : 30）
実施方法	オンライン（Zoom）
実施場所	
受入可能人数 （最小実施人数）	最大 10 人程度 （1 人）
プログラム 概要	日本で進行する少子高齢化の現状と今後の見通しについて解説するとともに、年金・医療・介護等の社会保障制度の持続可能性について考察します。また、時間の許す範囲内で、現行の社会保障制度が日本の財政硬直化の大きな原因となっている事実に言及し、大幅な改革の必要性について問題意識を共有します。
受入要件	とくになし。
受講対象	学部生・大学院生

令和8年度埼玉大学課外学習開講プログラム概要

プログラム名	声で遊ぼう！—わらべうた遊びや詩の朗読を通した声の表現活動
開講学部等	埼玉大学教育学部
担当教員	三橋 さゆり
実施日時	令和8年12月22日(火) 10:40 ~ 12:10
実施方法	対面演習
実施場所	教育学部コモ1号館 503
受入可能人数 (最小実施人数)	20人 (6人)
プログラム 概要	コミュニケーションの基盤となる声に着目し、声を使ったゲームやわらべうた遊び、詩の朗読などの演習を通して、声の表現について体験しながら学びを深めます。
受入要件	積極的に声を出して演習に参加してください。歌や朗読の知識や技能は問いません。
受講対象	学部生・大学院生・教員

令和 8 年度埼玉大学課外学習開講プログラム概要

プログラム名	身のまわりの物質と化学の歴史
開講学部等	理学部
担当教員	佐藤 大
実施日時	令和 8 年 12 月 2 日（水） 6 限（18：00 ～ 19：30）
実施方法	対面
実施場所	理学部講義棟 2、3 または 4 番教室
受入可能人数 （最小実施人数）	10 人程度 （ 1 人）
プログラム 概要	化学は物質を扱う学問です。私たちの身の周りにもたくさんの物質があふれていて、快適で便利な生活を支えています。 本プログラムでは身のまわりの物質について例示を行うとともに、それらの根幹をなす化学の歴史について概説します。
受入要件	特になし
受講対象	学部生

令和 8 年度埼玉大学課外学習開講プログラム概要

プログラム名	遠隔操作ロボット
開講学部等	工学部
担当教員	辻 俊明
実施日時	令和 8 年 10 月から 12 月に 1 回 月曜日 16 : 20 ~ 17:50
実施方法	オンライン
実施場所	
受入可能人数 (最小実施人数)	制限なし (3 人)
プログラム 概要	外科手術支援や院内搬送など、医療現場に導入が進む遠隔操作ロボットにはどのような技術が用いられているか、その基礎から解説します。ロボット工学の基礎と画像処理、制御の概要を述べた後にそれらの技術が近年の発展著しい生成 AI によってどのように展開しうるか、将来の展望を述べます。
受入要件	遠隔操作技術に興味がある方
受講対象	学部生・大学院生・教員

令和8年度埼玉大学課外学習開講プログラム概要

プログラム名	無気力・不安への対処（森田療法入門）
開講学部等	教育機構
担当教員	趙 丹寧
実施日時	令和8年11月18日（水）4限（14:40～16:10）
実施方法	オンライン
実施場所	
受入可能人数 （最小実施人数）	50人 （3人）
プログラム 概要	試験前なのにやる気が出ない、人の前で緊張し集団に馴染めない、よく眠れないなどの経験を持つ大学生は少なくありません。また、日本に留学に来ているが孤独を感じるなどの経験を持つ留学生も多くいるのではないのでしょうか。より良い大学生活・人生を目指すために、無気力さ・不安などへの対処法を身につけたいものです。本プログラムでは、若い人の神経症治療から出発した、百年の歴史をもつ日本の精神療法——森田療法を紹介します。森田療法の間観、文化心理学の知見が私たちの日々の生活、大学での学修、仕事上の人づきあいなどにどのように役立つかを考え、討論します。
受入要件	特になし
受講対象	学部生・大学院生・教員

令和 8 年度埼玉大学課外学習開講プログラム概要

プログラム名	人種差別に抵抗する医療者たち
開講学部等	ダイバーシティ推進センター
担当教員	對馬 果莉
実施日時	令和 8 年 9 月 14 日（月） 16 : 20 ～ 17 : 50
実施方法	Zoom・オンタイム
実施場所	
受入可能人数 （最小実施人数）	20 人 （ 5 人）
プログラム 概要	かつてフランス植民地であった西インド諸島マルティニーク島出身の医師であるフランツ・ファノンが、自身の人生と肌の色について、臨床や戦争の現場で考えたことを学びます。 基本文献：フランツ・ファノン著（海老坂武・加藤晴久訳）『黒い皮膚・白い仮面』（新装版）、みすず書房、2020 年。 フランツ ファノン著（北山晴一訳）『アフリカ革命に向けて—フランツ・ファノン著作集 4』、みすず書房、1984 年。
受入要件	特になし
受講対象	特になし